

JIA 国際交流活動支部事業報告書
まちづくり研究セミナー・建築展 27
日韓合同学生ワークショップ

於 旧大連航路上屋
2025 年 10 月 25・26 日

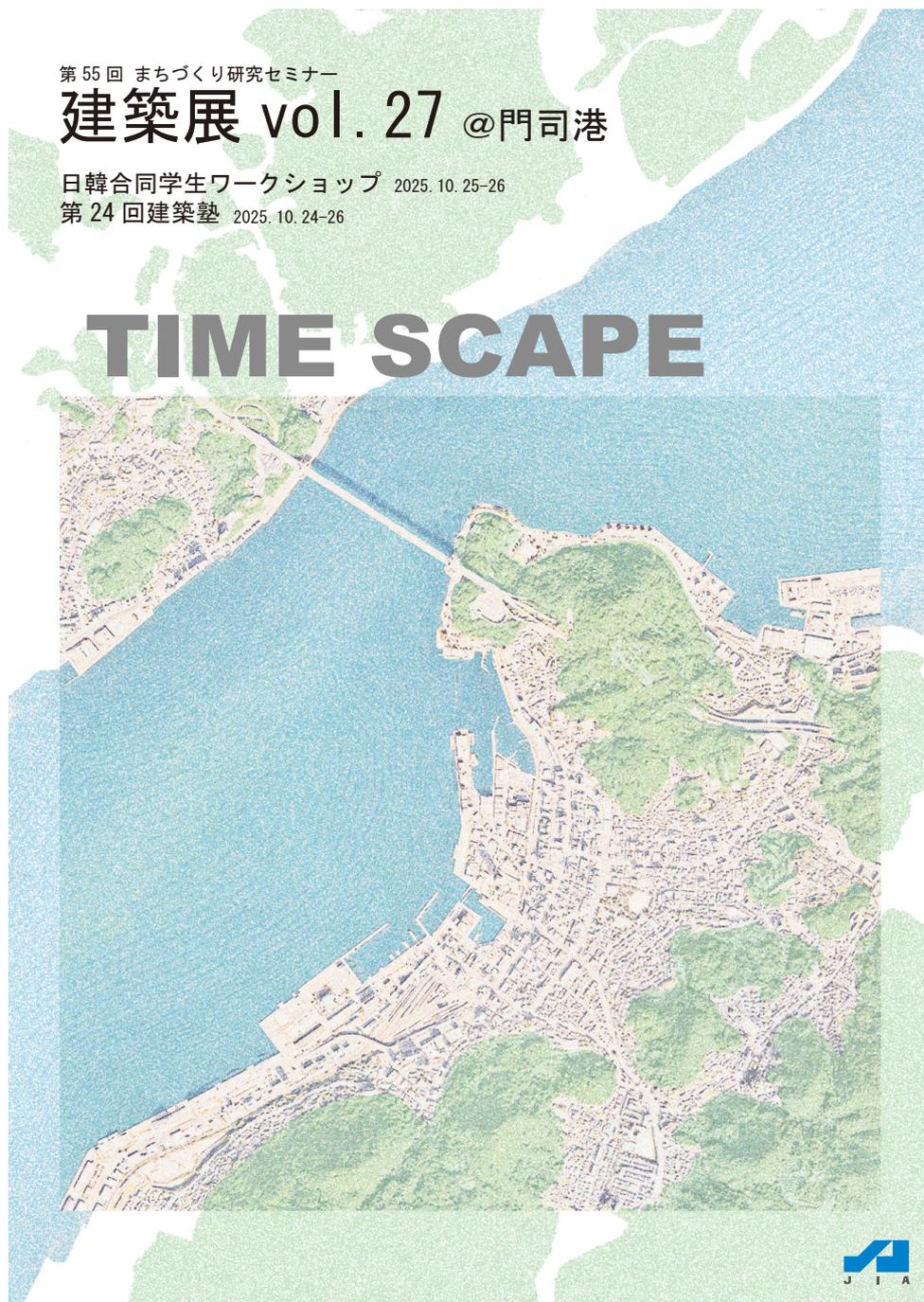
第 55 回 まちづくり研究セミナー

建築展 vol. 27 @門司港

日韓合同学生ワークショップ 2025. 10. 25-26

第 24 回建築塾 2025. 10. 24-26

TIME SCAPE



■事業名：第 55 回まちづくり研究セミナー JIA 建築展 27 日韓合同学生ワークショップ

■主催者：まちづくり研究セミナー事務局

公益社団法人日本建築家協会九州支部北福岡地域会

■共 催：北九州市

■事業概要：北九州市とその周辺の建築家で構成されている北福岡地域会では、建築・まちづくりを通して社会貢献する活動の一環として、北九州周辺地域の大学と「建築文化及び友好・交流についての協定」を結んでいる韓国の大学との日韓合同学生ワークショップを毎年開催してきました。長きにわたり講師の方々から素晴らしいレクチャーを受け、今日の活動に活かされていると思われまます。参加チームは、釜山周辺の大学と日本の大学を対象とし、合計 11 チームの参加となりました。

■事業目的：日韓の建築文化の違いを肌で感じてもらいながら、国際感覚を持った次世代を担う建築家の育成や、建築文化の創造・発展に貢献する事を目的としています。今年度の日韓合同学生ワークショップは門司港旧大連上屋にて完全対面方式で開催しました。門司中央市場とその周辺を題材とし「TIME SCAPE」をテーマに、時間軸から空間・文化・営み・風景が`繋ぐ`都市再構築を都市再構築をワークショップにて解いていきました。また、今回も 1 日目にはワークショップを行い、直接講師より指導を受けれるようにし、学生にとって大変刺激のある内容としました。

■実施場所：8 月 16 日：リモート会場（北九州市、韓国釜山、福岡市、大分県、東京都）

10 月 25 日・26 日：旧大連航路上屋

■参加者

：講師・通訳	5 名
KIA	2 名
北福岡地域会	16 名
九州支部	14 名
建築塾	11 名
北九州市立大学	8 名
九州産業大学	13 名
九州工業大学	6 名

日本文理大学	4名
近畿大学	7名
釜山大学	9名(韓国)
東亜大学	8名(韓国)
東西大学	10名(韓国)
慶星大学	10名(韓国)
釜慶大学	10名(韓国)
東義大学	8名(韓国)
その他大学教授他関係者	11名
一般	6名
計	158名

■実施期間：2025年8月16日～2025年10月26日

■日程：8月16日 課題発表会（リモート）

10月25日 セミナー・ワークショップ

10月26日 最終講評会

■報告

○課題

門司港の街の時間の積み重なりを踏まえた上で、地域に必要なプログラムを構想し、街の未来をつくる建築・都市空間(街並み)のあり方を提案してください。

門司港の街の固有性はどのような要素から成り立っているのか？街にある時間の積み重なりを踏まえた上で、ある単位ごとにリサーチをし、それを分類して分析したり、表現をしてください。

○敷地

門司中央市場(周辺も含む)

門司中央市場は約100年ほど前に開設された公設市場です。門司港の生活を支える物や情報の交換の場所として栄えましたが、現在では店舗数が減少してしまい、多くがシャッターを閉ざしている状態です。しかしながら市場は三方を山に囲まれ、西側に海をもつ門司港エリアの中央に位置し、様々な事物の中核点となりうる可能性を持った場所です。どのような活用、計画が門司港の街にとって有効であるか考えてみてください。

○プロセス

- 1 街を読み解く(リサーチ、物語の構築) 街の歴史や都市構造、文化、営みなどを調査・分析し、地域の時間と連続する ような物語を構築してください。
- 2 プログラム リサーチから、この場所にふさわしいプログラムを考えてください。閉鎖的なものではなく、地域に開かれたものとしてください。
- 3 時間を内包した建築・都市空間(空間の提案) 歴史の継承とこれからの未来をつくるような建築・都市空間を考えてください。計画する建築単体だけではなく、提案によって周辺がどのように変わるかも 考えてください。*対象敷地の既存建物は取り壊しても、改修しても可とします。周辺もまとめて提案しても可とします。

○ワークショップ・国際交流について

コンペではなく、ワークショップ形式にて開催しております。日韓の学生のお互いの文化やアイデアの違い、講師による指導により相互に触発されながら、ワークショップ・最終講評会へとブラッシュアップすることを狙いとし、ワークショップ形式を選択しています。また、ワークショップを通して学生間の一体感や連帯感、日韓相互の会話などが生まれ、国際交流の一助となれば本望です。また、今回は JIA 九州支部事業である九州支部の所属事務所の若手所員が参加する建築塾も共催しました。その結果、学生と建築塾生がお互いに刺激し合い、また交流も生まれました。

また今回は韓国建築家協会釜山支部(KIA)のご支援もあり、JIA との更なる交流も深めることができました。

○最終結果

本事業は、講師によるワークショップを主とする事業のため、提案作品の優劣は重視していませんが、参加者のモチベーション創出のため賞を授与しています。

日韓学生間の様々な生活スタイルや文化様式の違いにお互い触れ、理解しあうことで学生同士の交流が深まることも意図しています。

以下に、最終結果を記載します。

- ・最優秀賞：九州産業大学
- ・玉田誠賞：慶星大学
- ・協本夏子賞：北九州市立大学
- ・JIA奨励賞：釜山大学
- ・KIA会長賞：近畿大学

講評者：玉田誠（2024年度JIA新人賞受賞者）

協本夏子（2024年度JIA新人賞受賞者）

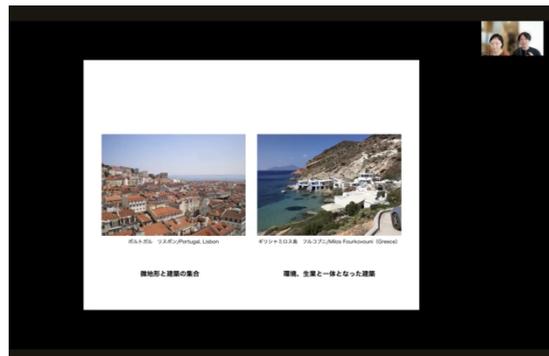
古森弘一（JIA北福岡地域会）

■報告書作成者：九州支部 北福岡地域会 塩釜 直人

JIA 国際交流報告写真



○両講師による 課題発表会 (8月16日)



○セミナー (10月25日)

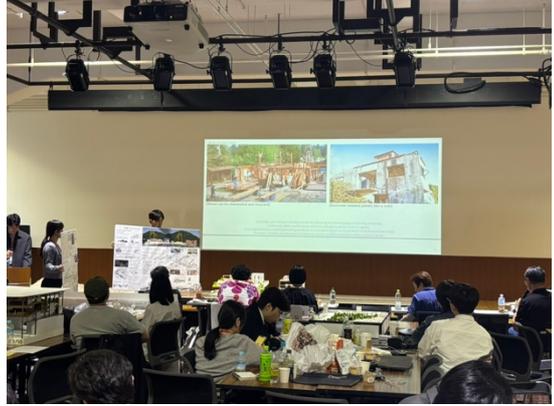


○ワークショップ (10月25日)



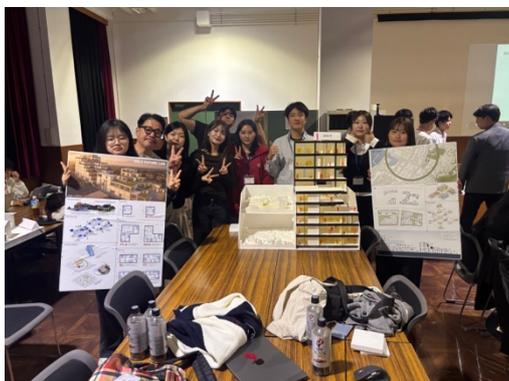
○最終講評会(10月26日)





○各大学作品

□東亜大学



□東西大学



□東義大学



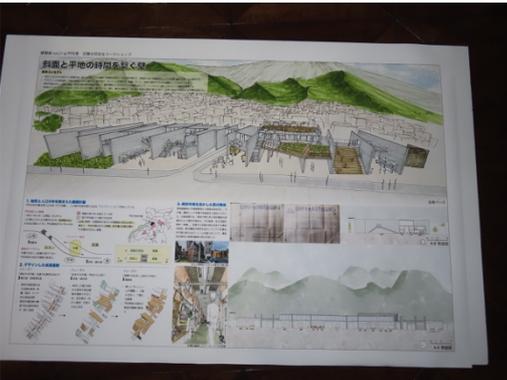
□北九州市立大学



□日本文理大学



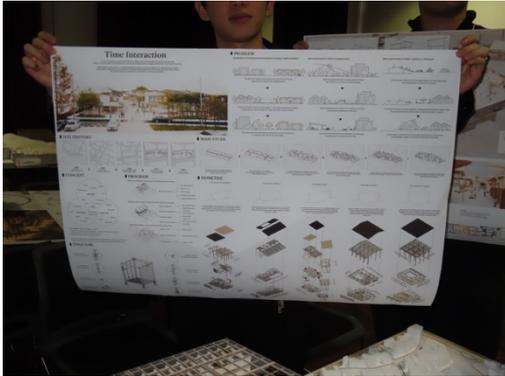
□近畿大学



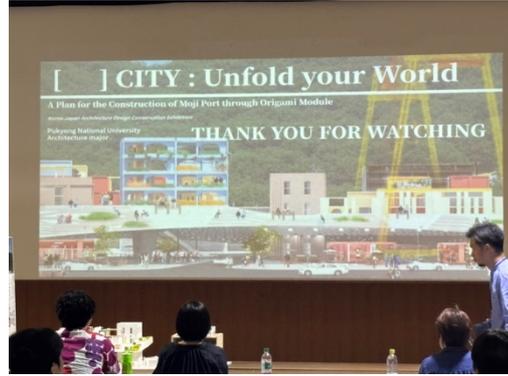
□九州産業大学



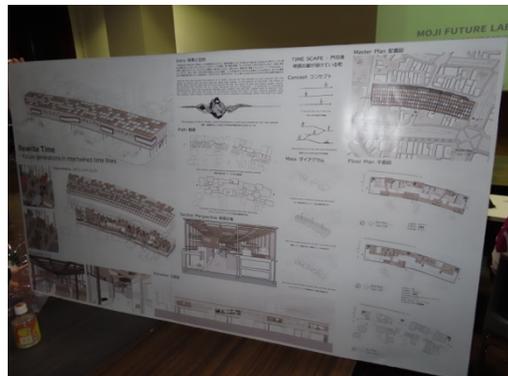
□慶星大学



□金慶大学



□金山大学



□九州工業大学



□最優秀賞 九州産業大学



□玉田誠賞 慶星大学



□協本夏子賞 北九州市立大学



□JIA 奨励賞 釜山大学



□KIA 会長賞 近畿大学



建築展 vol. 27

日韓合同学生ワークショップ+第24回 建築塾

『TIME SCAPE』

門司港は明治時代に、小さな漁村から特別輸出港へと大きく発展しました。

大陸との交易により栄え、多くの企業の建造物が建てられ、料亭や花街が賑わい、芝居小屋が立ち並ぶなど街は人々で溢れかえりました。しかしながら、昭和に入り関門トンネルの誕生により新しい交通網から外れたことや貿易の衰退などから、街は孤立化し経済成長から取り残されるようになりました。現在では門司港には、歴史的な建造物や港をはじめ、昭和の街並みや坂の地形など、街のアイデンティティを形作る特徴的なものが残る一方、他の地方都市と同様に人口減少や高齢化、生活インフラの老朽化などの問題を抱えています。

本課題では、時間をテーマとして建築・都市空間を考えてみたいと思います。

街並みは、その土地の風土の中で人間が集まって暮らし、時間の積み重ねの中で作り上げられます。

地形や気候、制度や建築、文化や営みなど様々なものが時間の変化の中に現れ、街の風景をかたちづくれます。

時間の流れ・時代の流れとともに変容しながら持続するような建築と都市空間を考え、未来の門司港の街の風景を構想します。

日韓合同学生ワークショップ

課題

門司港の街の時間の積み重なりを踏まえた上で、地域に必要なプログラムを構想し、街の未来をつくる建築・都市空間（街並み）のあり方を提案してください。

敷地

門司中央市場（周辺も含む）
門司中央市場は約100年ほど前に開設された公設市場です。門司港の生活を支える物や情報の交換の場所として栄えましたが、現在では店舗数が減少してしまい、多くがシャッターを閉ざしている状態です。しかしながら市場は三方を山に囲まれ、西側に海をもつ門司港エリアの中央に位置し、様々な事の中核点となりうる可能性を持った場所です。どのような活用、計画が門司港の街にとって有効であるか考えてみてください。

プロセス

1 街を読み解く（リサーチ、物語の構築）
街の歴史や都市構造、文化、営みなどを調査・分析し、地域の時間と連続するような物語を構築してください。

2 プログラム

リサーチから、この場所にふさわしいプログラムを考えてください。閉鎖的なものではなく、地域に開かれたものとしてください。

3 時間を内包した建築・都市空間（空間の提案）

歴史の継承とこれからの未来をつくるような建築・都市空間を考えてください。計画する建築単体だけではなく、提案によって周辺がどのようなか変わってくるかも考えてください。

*対象敷地の既存建物は取り壊しても、改修しても可とします。周辺もまとめて提案しても可とします。

成果品

物語を表現するドローイング、プログラムを表現するダイアグラム、周辺との関係がわかる模型（1/500程度）、建築空間がわかる模型（1/50程度）、その他必要なもの。

日程：

日韓合同学生ワークショップ

8/16(土) 10:00-12:30
課題説明会+ショートレクチャー
@ZOOM

10/25(土) 13:00-18:30
講演会+ワークショップ
@旧大連航路上屋

10/26(日) 9:45-17:00
最終講評会

第24回 建築塾

8/16(土) 10:00-12:30
課題説明会+ショートレクチャー
@ZOOM

10/24(土) 13:00-18:00
開会式+ワークショップ
@旧大連航路上屋

10/25(土) 13:00-18:30
講演会+ワークショップ
@旧大連航路上屋

10/26(日) 9:45-17:00
最終講評会

第24回 建築塾

課題

門司港の街の固有性はどのような要素から成り立っているのか？街にある時間の積み重なりを踏まえた上で、ある単位ごとにリサーチをし、それを分類して分析したり、表現をしてください。

敷地

門司港エリア全体
門司港エリアは漁村・塩田だった場所が突如として日本を代表する港湾都市となり、戦火による破壊と復興、産業・交通構造の転換による衰退、歴史的街並みを利用した観光地化という日本の近現代史といえるような変遷をたった130年の間に経験している都市です。門司港エリアのこれからの考えることは、日本の地方都市に対しても有効な手立てになります。時代と共に様相を変えてきたこの地域がどのような可能性を持っているのか、それによってどのような未来を描くことができるか考えてみてください。

プロセス

1 門司港を読み解く（リサーチ、物語の構築）
ある単位に着目し、門司港の街について調べてください。都市は様々な要素が集まり、時間の中で重なり合い、街の個性や空気感として目の前に現れています。都市の要素を単位ごとに可視化し、門司港の特性や可能性、課題も明らかにし、アイデンティティとなりうるものを探ってください。その時、時間という観点で掘り下げることで、地形や交通など物理的に目に見えるものや、データとして公開されているものだけでなく、街にある空気感や質感が可視化することができるかもしれません。また、時間という観点から、今街にある様々なものの歴史や起源を調べることで、その要素は残していくべきものか、更新していくべきものなのか、考えられるかもしれません。過去と現在を接続し、未来への方向性を考える。原動力を探し出して下さい。
*単位は複数選んでも良い。

2 門司港の風景を描写する

リサーチにより浮かび出した要素を用いて、門司港エリアの可能性や、未来への方向性を表現してください。データとしてまとめるだけではなく、スケッチや写真、コラージュ、立体模型表現など、自由に新しい風景を描写するような表現を模索して下さい。

講師：



2024年度 JIA 新人賞受賞

玉田 誠建築設計事務所
TAMADA & WAKIMOTO ARCHITECTS

玉田 誠 脇本 夏子
MAKOTO TAMADA NATSUKO WAKIMOTO

参加予定校：

- ・北九州市立大学
- ・九州女子大学
- ・東亜大学
- ・釜慶大学
- ・九州工業大学
- ・近畿大学（福岡キャンパス）
- ・東西大学
- ・慶星大学
- ・九州産業大学
- ・日本文理大学
- ・釜山大学
- ・東義大学



- 鹿ATOM建築設計室 鹿金子亮建築設計事務所 鹿河野建築設計事務所 鹿杉野建築設計事務所 鹿高橋現建築設計事務所 鹿津洋アンドアソシエイツ 鹿 浦 井 設 計
- 鹿安東建築設計事務所 鹿木賀設計事務所 鹿ごとう計画設計 福岡事務所 鹿スズキ設計 鹿豊川設計事務所 鹿中條隆文建築設計事務所 鹿洋建築計画事務所
- 鹿藤建築研究所 鹿楠木建築設計事務所 鹿小林建築設計事務所 鹿西郷交直建築事務所 鹿高浜設計事務所 鹿野田建築設計事務所 鹿北九州市立大学/九州工業大学
- 鹿小川建築設計事務所 鹿久保建築設計 鹿佐藤真紀&PUN建築設計事務所 鹿平建築設計事務所 鹿トーン設計 鹿占森一建築設計事務所 鹿九州女子大学/西日本工業大学
- 鹿加藤建築事務所 鹿熊平建築設計事務所 鹿白川直行アトリエ 鹿東川建築事務所 鹿東川建築事務所 鹿PRaise一級建築士事務所

（主催）まちづくり研究センター事務局
（公社）日本建築家協会九州支部 北福岡地域会
【協賛】北九州市
【協賛】（公財）北九州観光コンベンション協会
【お問い合わせ】info@jia-kiyokanaka.org

九州支部
北福岡地域会
員

- 浅田 典生
- 安東 崇夫
- 安東 秀夫
- 石垣 充
- 石川 哲夫
- 石塚 直登
- 瓜生 雅勝
- 衛藤 衛
- 小川 宏
- 小原 光晴
- 加藤 史衛
- 金子 英造
- 久保 直隆
- 久保 隆一郎
- 熊谷 友哉
- 後藤 治
- 佐藤 久間
- 佐藤 真紀
- 藤原 直人
- 高瀬 和久
- 豊川 一樹
- 豊川 裕子
- 永澤 正哉
- 中條 雅三
- 野田 良樹
- 服巻 展淳
- 福田 朋広
- 福本 孝行
- 藤本 弘一
- 吉森 浩史
- 松島 健史
- 三迫 靖史
- 溝井 直行
- 白川 友紀
- 杉野 基正
- 鈴木 基治
- 平 千年
- 高瀬 松之助
- 高瀬 雅彦

（公社）日本建築家協会
九州支部北福岡地域会
JIA国際支援活動支部助成事業

